平成25年度 第1号
7月発行（年4回発行）

山形県立 鶴岡病院だより

山形県立鶴岡病院　〒997-0369　鶴岡市高坂字堰下28　☎ 0235-22-2690

こころの医療センター（仮）のめざすもの

院長　神田　秀人

鶴岡病院は、こころの医療センター（仮）と名称を変更し、平成26年の秋に開院を目指しております。そのような時期に、院長という大役を仰せつかり、身の引き締まる思いです。新病院は精神科救急（スーパー救急）病棟、児童・ストレスケア病棟、医療観察法病棟やアウトリーチ部門など、精神科的に高度な専門性を備えた病院となる予定です。

素晴らしい話なのですが、私には一つの不安があります。それは、地方の小都市での病棟展開ですので、すべての専門病棟の規模が小さく、いわば幕の内弁当のような病院になることです。いかにもそれ風な当たり障りのない病院・・・に私はしたくはありません。

そこで、各病棟や部門を貫く基本方針を、患者さんを中心にした医師、看護師、臨床心理士、精神保健福祉士、作業療法士、教師、栄養指導部門、病院スタッフなどによる、チーム医療活動を行うことにする所存であります。つまり、基本をチーム医療に置き、新しい病棟展開をそのバリエーションと捉えるような考え方で病院を運営して行こうと考えております。

また、それを具現化するため、スタッフミーティングを定例化し、多軸診断を導入して各担当者が個別の専門性を発揮できるようにします。そして、そのプロセスの結果として、患者さん一人一人に個別の支援計画を提示し、出来るだけ患者・ご家族様の同意を得ながら治療を進めることを目指したいと思います。

また、もう一つの柱として運動療法の大胆な強化をしたいと思います。パラリンピック、デフリンピック、スペシャルオリンピックなど、身体・知的な障害に関しては、障害者スポーツは、ほぼ市民権を得ている状況ですが、精神障害者は蚊帳の外の状況にあります。

そこで、世界的に精神障害者の参加が進んでいるサッカーから強化に乗り出したいと考えます。チーム名は、オーロヴェッタ鶴岡（オーロヴェッタはイタリア語で金峰です）が現在の有力候補です。ご意見お待ちしております。

県立こころの医療センター（仮称）の整備について

連載第１回

今回は、整備事業の進捗状況に関して報告します。

現場では、昨年９月から行っておりました敷地造成・地盤改良工事が５月13日に完成しました。この工事では、敷地造成のための盛土工事、農業用水路の付替工事、液状化対策のための地盤改良工事を行ないました。また、新病院周辺の道路【南側道路（延長：350ｍ）西側・北側道路（延長：410ｍ）】の整備も併行して進めており、工事進捗率は６月末で64.3％となっています。工期は本年12月末までの予定です。

続きまして、今後の工事の予定を説明します。現在現場では、建物工事・電気設備工事・空調工事などの工事着手に向けた準備を行っております。その一環として、６月５日（水）に茅原町内会や国道112号沿線の店舗・事業者の方々を対象とした『地元工事説明会』を開催しました。この説明会では、今回建設する建物の配置、構造、特徴、工程などを説明しました。特に建物の特徴として、子どもユニットに併設される院内学級の教室配置や各部屋の使い方などを説明しました。

最後に、６月12日に開催された『県立こころの医療センター（仮称）新築工事安全祈願祭』を紹介します。当日は、６月とは思えないほど雲ひとつない晴天に恵まれ、吉村美栄子県知事、榎本政規鶴岡市長、地元茅原町内会関係者など60名の方々から御参列していただきました。神事で吉村知事等が鍬入れを行い、工事の無事を祈願いたしました。６月中旬以降、建物工事に着手し、仮設工事、基礎工事、躯体工事などを進めてまいります。建物の完成は平成26年７月末の予定です。新病院の開院は26年秋を目指しています。

◆現在の工事の様子◆

敷地造成　地盤改良工事完成
（25.6.14撮影）

安全祈願祭
（25.6.12撮影）

建物工事安全祈願祭が開催されました。
神事 鍬入れの様子です。

薬剤科は、薬物療法をお手伝いします

薬剤科と言うより、「薬局」と言った方がおなじみかと思います。病院の正面玄関を入ってすぐの左側に薬局の施設があります。薬局では、医師の処方せんに基づいての薬の調剤だけでなく、内服薬・外用薬・注射薬や消毒薬など病院内で使用される医薬品の点検・保管や、医薬品適正使用のために、情報を収集・整理して必要とされるところへ提供も行っています。

また、入院患者さんへ、患者さんがご自身のお薬を理解し、積極的に治療へ参画していただけるよう、薬効・副作用などを説明し患者さんからの質問にお答えしたりしています。

さらに鶴岡病院は、ジェネリック医薬品の使用に積極的に取り組んでおり、窓口での費用負担も軽減されます。

薬剤科は、安全で効果的な薬物療法をささえる医療チームの一員として患者さんの治療をお手伝いします。